

# サイバー自己防衛 2021

# 前書き

皆さん、こんにちは。チャノさんです。  
2020年末はもうすぐですね！なんと一年だった…

もちろん、コロナウイルスが皆の日々生活を変わりました。というより、ウイルスそのものではなくコロナウイルスへの対策が生活を変わったと言うべきではないか。

多くの場合には、対策はウイルスより怖い気がしますね。他の国々と比べたら日本はまだマシですが、世界各地の政府や大企業が恐ろしいぐらい妙なように動きはじめています。様々な国に、強制ロックダウン、小企業の強要された休業、そして義務的なマスク利用法の違反での逮捕が次々起きている。とある航空会社がコロナワクチン接種の証明を見せれない人々には乗り込む許可を与えないと発表しました。皆はスマホに、動きを追える「接触確認アプリ」をインストールするよう頼まれています。そして世界的エリートがコロナパニックを都合の良い言い訳に使って、世界秩序に著しい変化をもたらす「グレート・リセット」と言われる計画を実現しようとしています。世の中は急に、SFディストピアのように見えてきました。

変化と不確実性の時に、政府はいつもさらなる権力掌握をしようとしますね。その時に、自分の権利を守るのは他の時よりも重要です。もちろん、第三者に頼って権利を守られるのは意味がありません。自ら保護しないといけません。その目標に向かって、我々は今年に、サイバー自己防衛に役立つソフトウェアを日本語に翻訳していました。この本で、3つのプロジェクトに紹介したいと思います：「セッション」（通信の秘密を保護するため）、「Bisq」（財務のプライバシーと自由を保護するため）、そして分散的SNSを可能にする「10friends」プロジェクトを再紹介したいと思います。

さて、はじめましょうか！





# セッション

セッションはオープン・ソース、安全なメッセンジャーアプリです。分散型記憶サーバ、そしてオニオオンライン・プロトコルにより、メタデータの暴露をできる限り防止しながら、終端間暗号化されたメッセージを通信します。セッションは、いくつかの方法でメタデータの収集を軽減しています：

第一に、セッションは中央型サーバーに頼らず、何千もの分散型ノードのネットワークを使用します。

次に、セッションがIPアドレスへ送られるメッセージとつながらないように、そしてさらに相手に受信されないよう安全性を確保します。

最後に、セッションではアカウント作成の際、メールアドレスや電話番号を必要としません。その代わり、暗号の公開鍵システムをアカウント識別のための基準として使用します。

セッションは最近、日本語にローカライズされており、様々なプラットフォームで入手しインストールできます。



<https://getsession.org/download/>



人は進み、奴隸体は従う。

人は進み、  
奴隸体は従う。



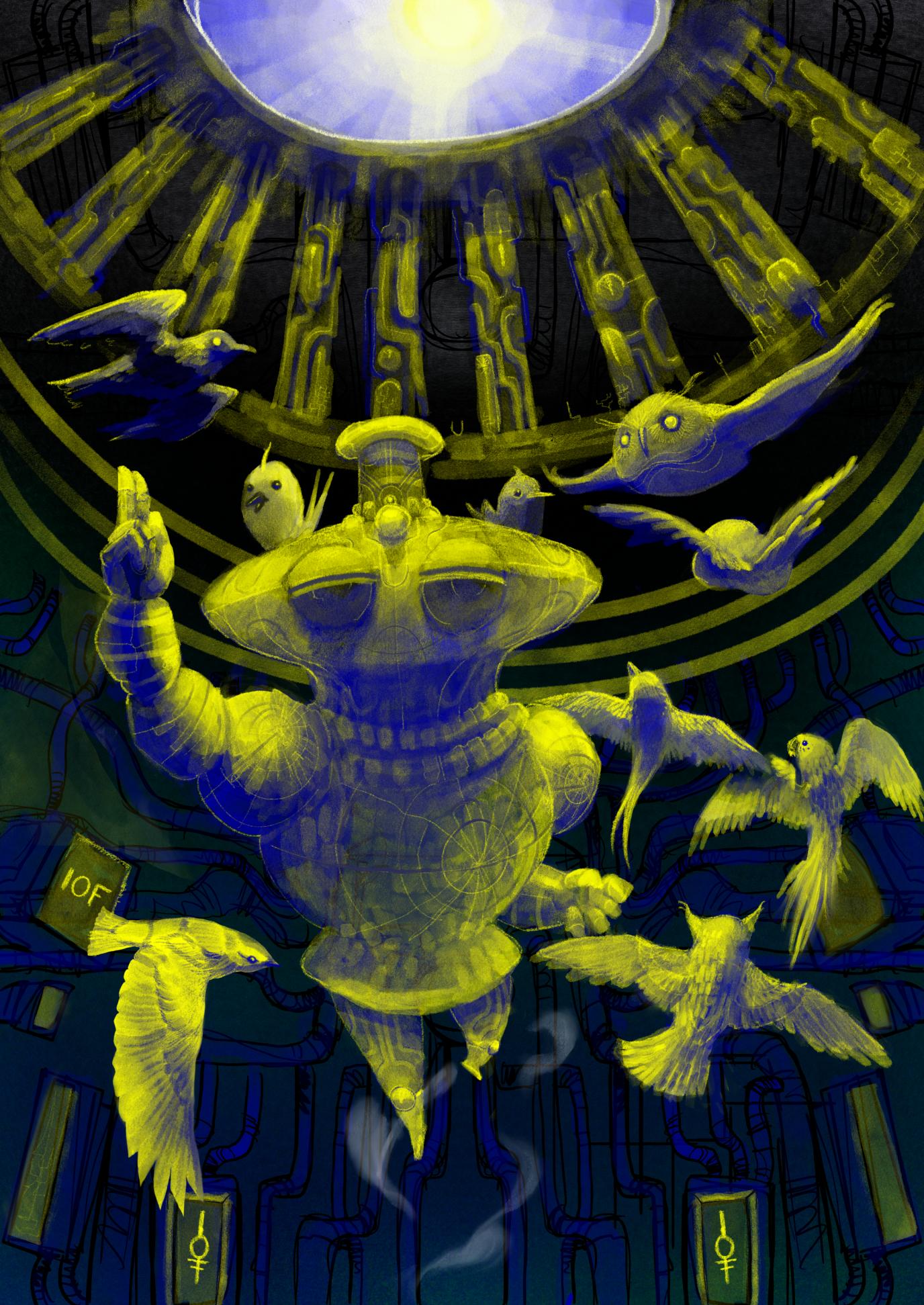
**Bisq**は分散型、P2P仮想通貨取引場で、個人ユーザに集中型の当局から許可を得る必要とせず、お互いに仮想通貨取引する権限を与えます。全てのトランザクションはTorネットワークを介して通信されますので、トレーダーにある程度のプライバシー及び匿名性を提供します。そして自動的なエスカロー・サービスと堅牢な仲裁制度が不正行為を妨ぎます。

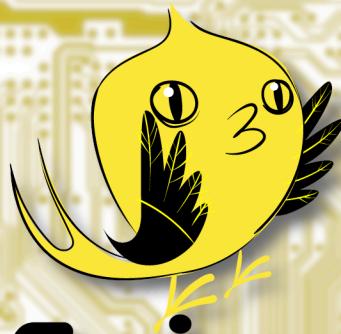
さらに重要なことに、**Bisq**はバージョン1.5.0ではクライアントソフトが完全に日本語へとローカライズされました。そして個人ユーザが、当局の許可を得ることを必要とせず、仮想通貨取引が可能であるからこそ、**Bisq**で日本国民が政府の監視から守られながら自由にプライバシーコインの取引が可能です。**Bisq**のみでは完全なるプライバシー及び匿名性を提供できるとは限らないが、プライバシー意識の高い日本国民にとって役立つツールになることでしょう。

たとえ「Peer-To-Peer通貨」を使用したとしても、集中型システムの取引場に頼ってしまうのでは、分散的技術を無意味にします。日本の仮想通貨トレーダーの皆さんへは、**Bisq**の利用を強く推奨いたします。取引場の恣意的な管理下から解放しましょう。



<https://bisq.network/ja/>





# 10friends

**10friends**プロジェクトの目標は友人の少グループに、自分の無料そして分散的SNSプラットフォームを管理するツールを与えることです。友達による友達のために管理される少インスタンスを促進することによって、分散的なFediverse(フェディバース)の成長と人気を支えたいと思います。そして中央型のSNSサービスよりも優れた選択肢を提供することによって、ネット上の検閲や監視に対する防衛を作りたいと思います。

普通の友人グループの中に、ある程度のパソコンスキルや才能を持っている人がいるはずです。その友達たちが十分な額を共同出資したら、自分たちの専用サーバーを開設できます。そのサーバーに好みなソフトウェアサービスをインストールして管理できます。例えば音楽やポッドキャストの投稿・共有のため（Funkwhale）、動画の投稿・共有のため（PeerTube）、それともコミュニケーションやミニブロギングのため（Pleroma）のソフトウェアを選択できます。

サーバーのユーザと管理者は友達同士だからこそ、投稿するコンテンツとつぶやきの内容に関する理不尽なBANなどの恐れがありません。管理者は見知らぬ人に頼まれて友達をBANするわけがない。同様に、友達同士だからユーザは管理者を困らせる、サーバーをダウンさせるコンテンツを投稿したいわけもない。このモデルで、ユーザにも管理者にも安定そして心の平安をもたらします。

今のところ、プロジェクトは英語のみですが、日本のユーザから興味があれば日本語にローカライズしたいと思います。Twitter、Facebookなどが議論を管理する方法は最近狂気になってしまいいますので、日本国民は米国企業による管理される中央型SNSプラットフォームから脱出した方が良いと我々は思います。協力したい方、ぜひ問い合わせして下さい！



<https://10friends.info>

# 後書き

この本を読んでくれてありがとうございます！中に紹介したソフトウェアやプロジェクトは役に立つと願います。匿名性、通信の秘密、そして財務プライバシーはオンライン上に自由で暮らしをすることの柱ですので、できる限り自ら権利を保護する技術を日本国民に手渡したいと思います。

「この技術は悪用され、犯罪者にも使われるよ！」と言う方々もいますね。でもその方々が平気に、安全な社会作りのため当局に権力を与えます。そしてその権限が乱用されたら、その人たちがよく「仕方がない」と言い訳します。それでは、この技術の悪用も仕方がないと返事しますw

残念ながら、世の中は危険だということは否定できない事実です。安全を第三者に任せると、逆にその第三者の被害者になってしまう可能性もあります。個人が強くなれば、回りの危険性が増えても自ら安全を保護できます。何よりも、自己責任が一番です。こういう理想の下で行動したいと思います。

「知識は自由だ」という理想の下にも行動するので、この本はいつもとおりにクリエイティブコモンズで出版しました。無料ですし、自由にコピーして内容を自分のプロジェクトに使って下さい。でも我々の運動を支援したいなら、以下のリンクで仮想通貨で寄付できます。



<https://www.anonymous-japan.org/support>

ちなみに、今回の本に使われたアートワークは委託作業です（個人的に絵が下手のわ）。アーティストの「ULY128」に感謝の気持ちを申し上げたいと思います。ULY128さんは日本語を話せないけど、絵を委託したい方、それともアーティストを直接に支援したい方は以下のリンクを訪れて下さい。



<https://cointr.ee/uly128>

2021年に普通のコミケをできますように！  
ありがとうございます。

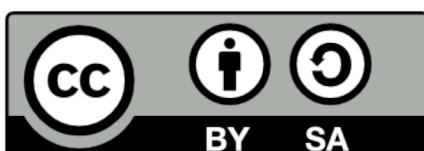
匿名  
署名  
*Chano-san*



# チャノロジー・アノニマス



ANONYMOUS-JAPAN.ORG  
PEERTUBE.ANON-KENKAI.COM  
ODYSEE.COM/@ANONKENKAI:0  
BITCHUTE.COM/CHANNEL/ANONKENKAI  
YOUTUBE.COM/USER/CHANOLOGYAGENT  
PL.ANON-KENKAI.COM/JAPANANON  
TWITTER.COM/JAPANANON  
CONTACT@ANONYMOUS-JAPAN.ORG



この作品はクリエイティブ・コモンズ表示-継承4.0国際ライセンスの下  
に提供されています。